

授業科目	乳児保育Ⅱ				実務家教員担当科目	-					
単位	1	履修	選択	開講年次	3	開講時期	前期				
担当教員	田中 沙織										
授業概要	<p>乳児保育Ⅱでは、既習の乳児保育Ⅰとあわせて、保育士として乳児（0～2歳児）を保育するうえで必要な基本的な考え方や援助の在り方を習得する。</p> <p>まず保育の普遍的理論と現代における乳児保育のニーズをとらえ、現代に即した保育のありようを考察、理解する。また、乳児保育の実際について、個々の発達を促す生活と遊びへの配慮、職員間の協働等を基に学ぶ。そして、3歳未満児の生活や遊びと保育の方法及び環境を踏まえた乳児保育における計画の作成について理解する。</p> <p>さらに、3歳未満児の発育・発達の過程や特性及び、養護及び教育の一体性を踏まえた援助や環境構成、関わりの基本的な考え方について理解し保育実践力をつけることを目指す。</p>										
授業形態	演習	授業方法	ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション、実技演習								
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<p>1. 3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえ、援助や関わりの基本的な考え方や配慮の実際について理解することができる。（DP2-1）</p> <p>2. 養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について理解し、実際に行うことができる。（DP2-2）</p> <p>3. 乳児保育における計画を理解し具体的な計画を立てることができる。（DP3-2、DP5-2）</p>										
理想的レベル	<p>1. 3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえ、援助や関わりの基本的な考え方や配慮の実際について他者と意見を交わしながら、自分の考えを明確化させることができる。</p> <p>2. 養護及び教育の一体性を踏まえて、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について理解し、技術を身につけることができる。</p> <p>3. 乳児保育における計画を理解し配慮すべき事柄を押さえて具体的な計画を立てることができる。</p>										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）					備考					
試験	30%										
小テスト											
レポート											
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物	40%										
その他	30%					実技					
カリキュラムマップ（該当DP）・ナンバリング											
DP1	-	DP2	○	DP3	○	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	WE21622J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安（時間）	
予：次回の授業内容について教科書の内容を熟読する、関連情報を集める（45分）										1	
復：授業課題シートの整理を行い知識や技術の定着を図る（45分）											
授業計画											
第1回	テーマ：オリエンテーション、乳児保育の基本（田中沙織）										

	本講義の進行方法・内容・評価 乳児を育てるとのこと（グループワーク）
第2回	テーマ：乳児保育の基本（1）（田中沙織） 事例をもとに考える子どもと保育士等との関係の重要性（個々の子どもに応じた援助や受容的・応答的な関わり）
第3回	テーマ：乳児保育の基本（2）（田中沙織） 事例をもとに考える子どもの主体性の尊重と自己の育ち（子どもの体験と学びの芽生え）
第4回	テーマ：乳児保育の実際（田中沙織） 子どもの心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮 乳児保育と保育の方法
第5回	テーマ：乳児保育の実際（田中沙織） 集団での生活における及び環境の変化や移行に対する配慮
第6回	テーマ：乳児保育における計画の実際①（田中沙織） 長期的・短期的な指導計画
第7回	テーマ：乳児保育における計画の実際②（田中沙織） 個別・集団のデイリープログラムや指導計画
第8回	テーマ：0・1・2歳児の生活の流れと保育環境（田中沙織） 乳児の養護（観察・環境整備）
第9回	テーマ：発育・発達を踏まえた援助①（田中沙織） 乳幼児期の養護と健康の評価（保健活動）
第10回	テーマ：発育・発達を踏まえた援助②（田中沙織） 乳児期の清潔・身辺自立、沐浴・排泄
第11回	テーマ：発育・発達を踏まえた援助③（田中沙織） 乳幼児の食の援助（調乳・授乳）、与薬
第12回	テーマ：乳児保育の遊びを考える①（田中沙織） 子どもの発達に応じた遊び教材の成果物の発表
第13回	テーマ：乳児保育の遊びを考える②（田中沙織） 子どもの発達に応じた遊び教材の成果物を用いた指導計画及び実践
第14回	テーマ：保護者・地域・保育者・専門機関との連携（田中沙織） それぞれの「連携」を行うことで子どもが安心して快適に過ごせることを理解する
第15回	テーマ：これからの乳児保育（田中沙織） 乳児保育における社会的課題と保育者の専門性 まとめ・発表・レポート
テキスト	乳児保育Ⅰで使用した教科書を持参すること
参考図 書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	保育所保育指針 授業内容に応じて資料を配布する。

課題に対するフィードバックの方法	<p>実技については、授業に取り組む姿勢と技術習得の側面から授業の中でその都度フィードバックを行います。</p> <p>提出物については授業の中で課題に関するディスカッションや解説を行うことによりフィードバックを行います。</p>
学生へのメッセージ・コメント	<p>○乳児をとりまく様々な課題に普段から興味関心を持って、情報収集すること。</p> <p>○乳児保育Ⅰの授業を振り返り、乳児保育の理論や乳児の発達について思い起こしておく。</p> <p>○授業で扱ったテキストの範囲及び配付した資料は、授業後に再度熟読しておくこと。</p> <p>教科書や専門書以外にも、身近な私たちの生活の中に、この授業内容を理解するヒントがあふれています。</p> <p>授業内容に対し、疑問や意見を持つことで生活の中でアンテナを広げ、そこで得た情報を、授業の中で表現することで学習内容はさらに深まります。</p> <p>尚、本授業の教科書は乳児保育Ⅰで使用した教科書を使用します。必ず授業に持参するようにしてください。</p>

